

温暖化防止うらやす3月度例会（フリートークメモ）

日時 3月18日 15:00～17:00

会場 Zoom オンライン

出席 小川・島野・神尾・大西・服部・廣田・岡部・川島

（例会概要）

3月度例会では、2021年度事業、特にちば環境再生基金助成金事業（以下：助成金事業）について以下のフリートーキング（アイデア出し）を行った。以下の速記内容参照ください。

- ・助成金事業は①子供向け環境学習プログラムの実施、②成人向け講演会の2本立てを計画している。
- ・温防うらやすの事業であるから『地球温暖化対策』がメインテーマで外せない。
- ・浦安市の『ゼロカーボンシティ』施策・市民への期待やどんな協力が可能かを環境保全課に訪問し確認。川島・島野が訪問し報告する。
- ・コロナの状況次第では、計画を縮小・変更が考えられるが、楽観的見通しで計画を進める。計画の変更は環境基金の事前承認をとれば可能であることを千葉県環境財団に確認済。

総会は5月20日予定。今年度はちば再生基金助成金事業の具体的検討の為、次回は4月15日に例会を開催（開催場所は改めて通知）

助成金事業の①環境学習・②環境講演会の具体的な進め方・会員各自の参加分野を決めるため4月10日までに、自分の考え方・アイデア・担当分野の考えをグループメールで事前提出する。

本日の議事内容（速記）

□2021年度の活動について意見交換 フリートーク

- ・浦安市ゼロカーボンシティ宣言への対応
- ・ちば環境再生基金助成金事業の取り組み

① 環境学習プログラム

夏休み・

地球温暖化啓発が前提

地球温暖化：島野・廣田・川島のプログラム（環境パートナーシップちば）がある。

小 川：参加者年齢に応じ実施するプログラムが異なる。

ターゲットは？ 小学生3～5年生（川島）：集客が大変だぞ。

公民館事業：どの公民館・ルネッサンス（夏休み版は5月末が締切）

自治会：学校・公民館以外のターゲット

大西：今までの各自のやり方を踏襲すればいい。

岡部：小4～5年。実験・工作＋地球温暖化防止

夏休みの見通し 少人数

服部：各自のやりたいことを積み上げればいい結果に結びつくと思う。

まずみんなで足並みをそろえてやろう。

市の施策・考えをあらかじめ把握しておく必要がある。

② 環境講演会 アイディア出し

小川：自前講師？ 外部専門講師？ →（川島）外部講師を考えている。

神尾：市との共催なら広報も可能で集客が期待できる。うまくいけば会場提供も・・・

カーボンシティの啓発：末吉さん（WWF 理事長）・イオン（プラご問題）

島野：国環研 市民向け講座

川島：気象・防災

③ 実施体制の検討

渉外担当 浦安市環境保全課ヒアリング。協力（後援申請・広報）の感触を確かめる。

公民館・学校・自治会へ働きかけ。

会計担当 助成金（独立）会計処理

実施担当 ①環境学習 ②環境講演会

広報担当

* コロナ感染防止の観点から実施内容の変更は財団に相談の上で変更可能

□総会・例会などの年間スケジュール (第3木曜日 15:00～17:00)

総会 5月20日

例会 4月15日(決定)、7月15日、9月16日、11月18日、1月20日、3月17日

会場： 日の出公民館 又は市民活動センター

・ 2021 年度会費について (次回検討)

環境再生基金助成金事業の講師謝金対応 (限度2万円) の為負担金対応

・ 新入会員 2名 原瀬さん・藤氏 4月又は5月に入会予定。

(参考)

助 成 事 業 計 画 書

事業名 (助成対象事業区分)	「浦安市内での地球温暖化防止対策啓発事業」 (該当する区分：地球温暖化防止対策)
1 事業目的 (現状の環境課題に対して、団体等が何を対象にどうしたいのか、事業の必要性等から簡潔に記述)	(目標の達成度を分かりやすく記載する。) 浦安市は2020年に『2050年ゼロカーボンシティ宣言』を行った。これに対し、市民の『2050年ゼロカーボンシティ』実現に対する認識向上と人材育成を目的として市民対象の啓発を行う。
2 事業内容 (具体的な事業の活動場所、活動内容、実施期間内のスケジュールを記載してください。)	活動場所 浦安市内など (公民館、小中学校、WEB など)
	活動内容 ① 未来を担う子供たち向け体験型環境学習プログラムの作成及び、実施。 ② 暮らしの中でのエコにつながるテーマの成人向け講演会の実施
	実施スケジュール ○. 7～8月：[夏休み]子供向け環境学習の実施 ー. 12～2月： 成人向け講演会の実施

3 実施体制 (事業の実施に当たっての協力体制をどのように構築するか記載してください。)	(専門家等との協力)			
	○日本技術士会千葉県支部会員 岡部技術士事務所			
	(教育機関・市町村等との連携)			
	○浦安市：環境保全課・教育委員会（採択後、申請予定）など			
4 普及啓発活動 (事業の周知方法、啓発等の内容を記載してください。)	(住民等との連携)			
	地域の公民館・環境団体他を通じた 広報協力依頼			
	(広報活動：どのような広報手段で事業の周知を行うか)			
	○ホームページ、 ○チラシ配布・ポスター、 ○関係団体への協力要請（浦安市・教育委員会 など）			
5 事業効果把握 (事業実施の効果について、どのような方法で評価するのか記載してください。)	(啓発活動：どのような啓発手段で事業の啓発を行うか)			
	① 工作と講習・講演を通じて、2050年までにゼロカーボン実現に向け、自分たちのできることを、共に考える。 工作製作を通じて、エネルギーの大切さを体験する。			
	② エネルギーを上手に効率的に使うための工夫を共に考える。 くらしの中でのCO2削減他の工夫を共に考える。			
	(事業の効果把握：何を指標とするのか)			
6 助成実績(◎)及び今後の申請予定(○)	○参加人数、○製作物、○アンケート、○会場での質問内容			
	(把握方法：どのような方法、手法を用いてその効果を評価するのか)			
	○各回の参加人数と、感想などを集計し、ホームページで報告する。			
6 助成実績(◎)及び今後の申請予定(○)	前年度活動	今年度活動	申請年度	翌々年度活動
			○	○

別紙2 事業収支予算書

令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 3 1 日

区 分			予算額	内 訳
収 入 の	助成金		1 0 0 , 0 0 0 円	ちば環境再生基金助成
	会費収入		1 0 , 0 0 0 円	内訳 会費の一部 10,000 円負担
	その他	参加費	9 , 0 0 0 円	材料代 3 0 0 円×3 0 名
	(寄付等)			

部				
	総 額		1 1 9, 0 0 0 円	
支 出 の 部	助 成 対 象 経 費	消耗品費	1 0、0 0 0 円	コロナ対策（フェイスマスク・消毒液）
		印刷製本費	1 0、0 0 0 円	広報チラシ・当日レジメ印刷費
		旅 費	4、0 0 0 円	講師交通費
		使用貸借費	3 0、0 0 0 円	会場費（検討会・工作教室・講演会会場）
		原材料費	2 5、0 0 0 円	試作品材料費及び工作材料費 30 人分
		備品購入費	1 0、0 0 0 円	工作道具・工具等
		謝金	2 0、0 0 0 円	講演会講師謝金 内訳 30,000 円のうち 20,000 円 （助成限度額を超える部分でも、助成の対象となる経費については全て記入する。）
	小 計		1 0 9, 0 0 0 円	
	助 成 対 象 外 経 費	謝金	1 0、0 0 0 円	講演会講師謝金 内訳 30,000 円 のうち 10,000 円
		小 計		1 0, 0 0 0 円
総 額		1 1 9, 0 0 0 円		